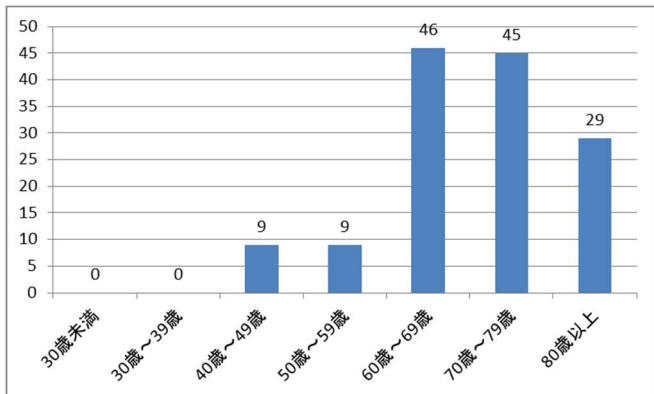
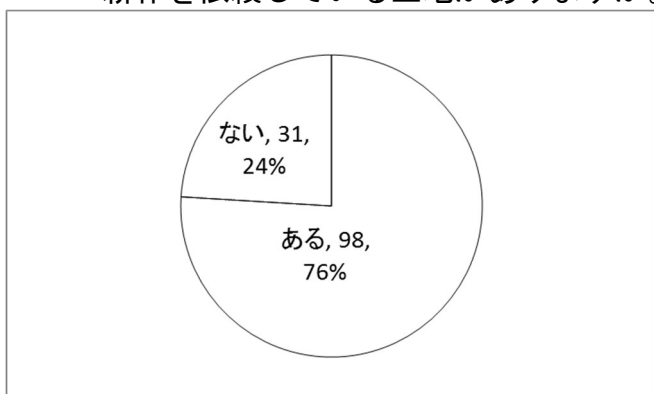


山梨・宇刈地区

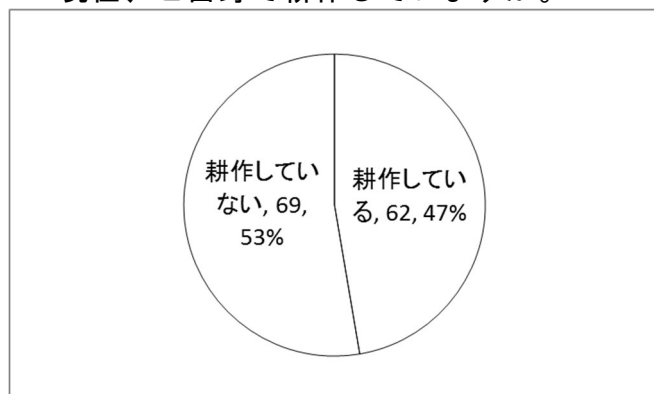
回答年齢



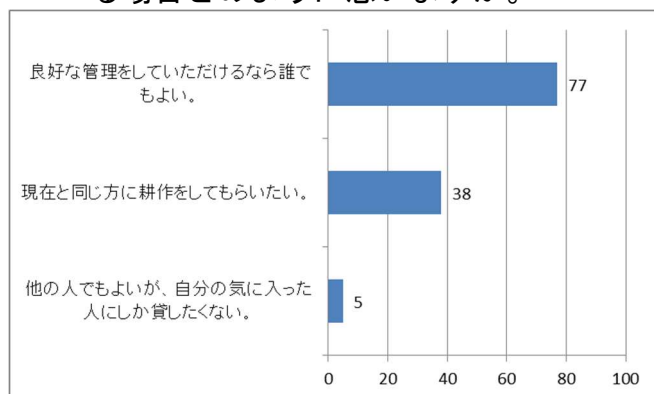
Q2-1 所有農地について 耕作を依頼している土地がありますか。



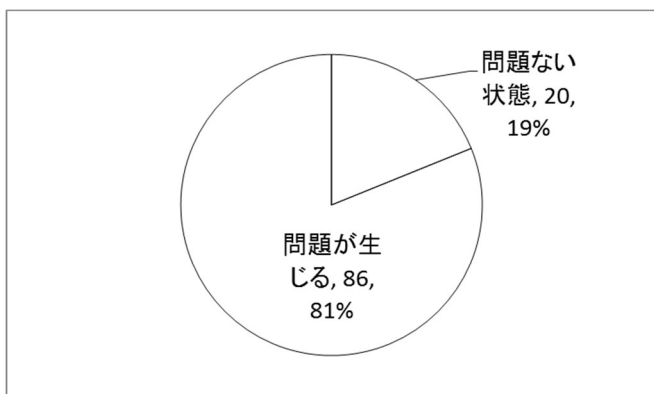
Q1 ご自身の営農状況について 現在、ご自身で耕作していますか。



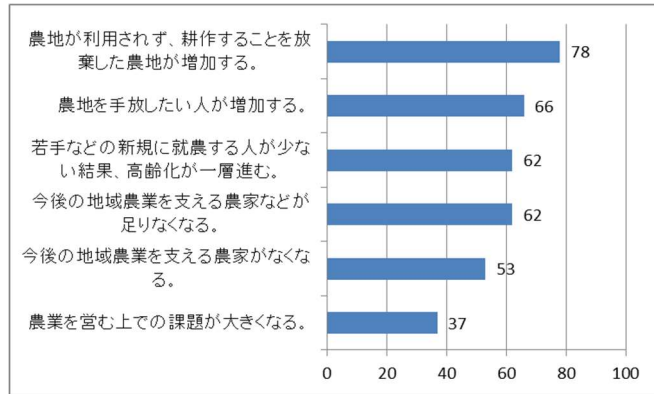
Q2-2 今後、集約化にあたり借手を変更する場合どのように思いますか。



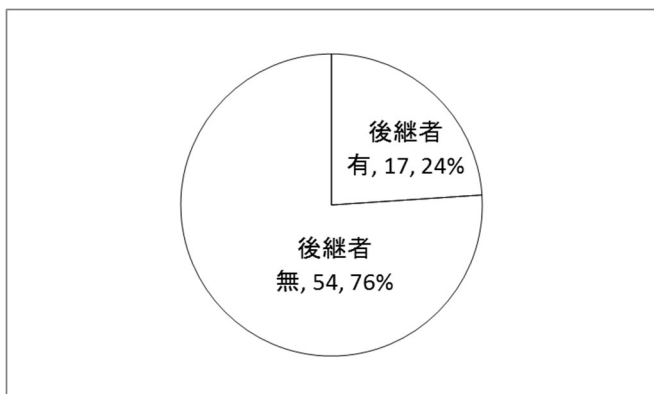
Q5-1 あなたの地域の農業（人と農地）は10年後にどのようになっていると思われますか。



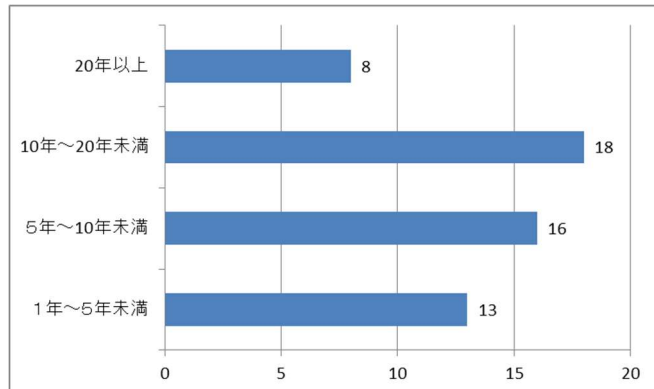
Q5-2 問題と思われる課題



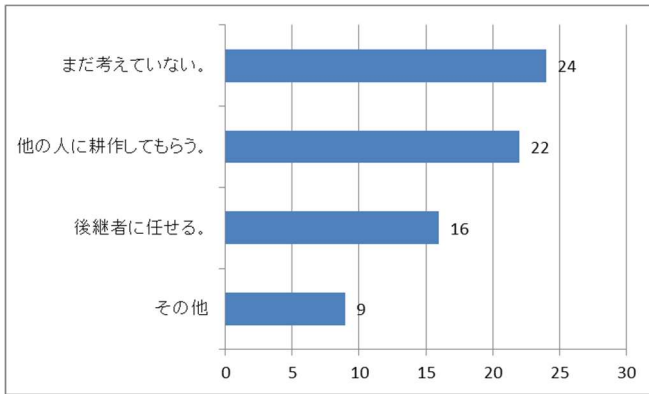
Q7-1 後継者の有無



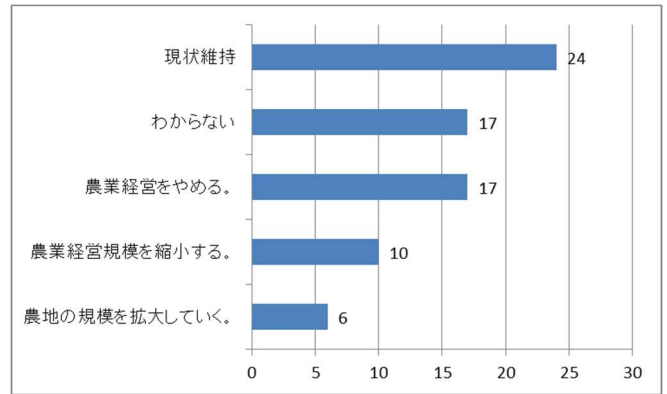
Q7-2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。



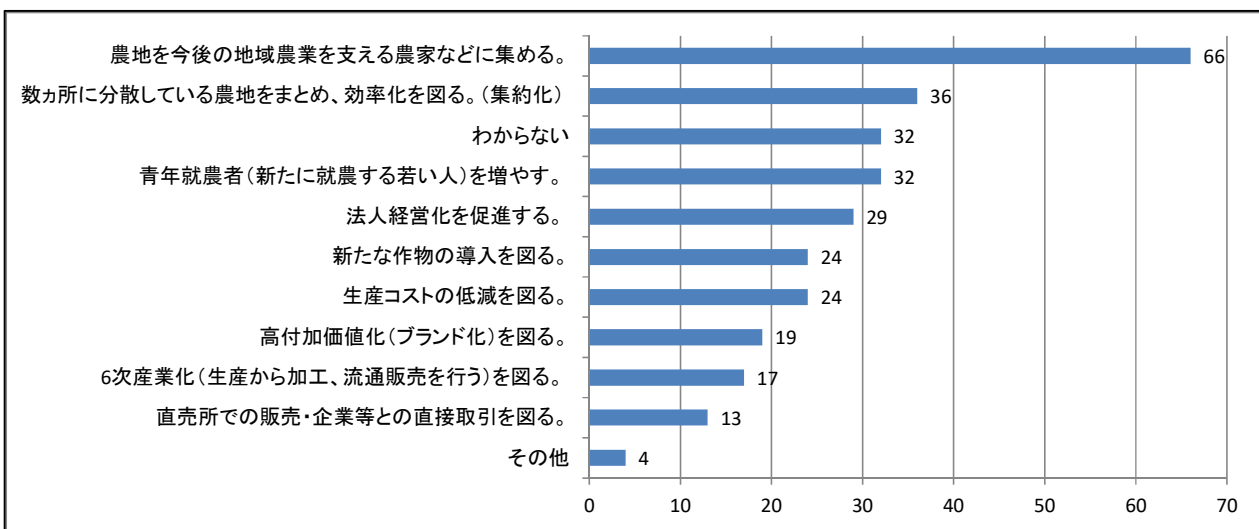
Q7-3 今後、耕作を続けられなくなった場合どうしますか。



Q9 今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。



Q10 今後の（10年後）の地域農業について、どのような取り組みを行い、発展させていく必要があると思いますか。



山梨・宇刈地区農業推進委員会 アンケート結果

【対象者】 223人

【回答者】 142人

【耕作地区】 山梨・宇刈地区 125人 その他 17人

【性別】 男性 130人 女性 11人

【職業】 専業農業者 42人 兼業農業者 30人
農業以外 54人

【年齢】 30歳未満 0人 30歳～39歳 0人 40歳～49歳 9人
50歳～59歳 9人 60歳～69歳 46人 70歳～79歳 45人
80歳以上 29人

【耕作面積】 ①自分で耕作していない 64人
②3,000㎡未満 28人 ③3,000㎡～10,000㎡未満 28人
④10,000㎡～100,000㎡未満 12人 ⑤100,000㎡以上 7人

【設問1】ご自身の営農状況について

1 現在、ご自身で耕作していますか。

耕作している 62人 耕作していない 69人

【設問2】所有農地について

1 耕作を依頼している土地がありますか。

ある 98人 ない 31人

2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。

① 現在と同じ方に耕作をしてもらいたい。 38人

② 他の人でもよいが、自分の気に入った人にしか貸したくない。 5人

③ 良好な管理をしていただけるなら誰でもよい。 77人

【設問3】 今後、所有している農地について、どのように考えておられますか。(未耕作者)

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 今後も農地として、耕作してもらおう。 | 48人 |
| ② 農地以外の用途に利用していく。 | 14人 |
| ③ その他 | 15人 |

【設問4】 集約化に向けた課題 地域内で年貢、小作料の統一が必要か

- | | |
|--------------------------------|-----|
| ① 統一すべき (例 10a 当たり 10,000 円) | 39人 |
| ② 農地等の条件が違うため、統一はできない。 | 71人 |
| ③ その他 | 10人 |

【設問5】 あなたの地域の農業 (人と農地) は 10 年後にどのようになっていると思いますか。

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1 問題ない状態 (各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている) | 20人 |
| 2 問題が生じる。 | 86人 |

(問題と思われる課題を回答してください[複数回答可])

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ① 農地が利用されず、耕作することを放棄した農地が増加する。 | 78人 |
| ② 今後の地域農業を支える農家がなくなる。 | 53人 |
| ③ 今後の地域農業を支える農家などが足りなくなる。 | 62人 |
| ④ 若手などの新規に就農する人が少ない結果、高齢化が一層進む。 | 62人 |
| ⑤ 農地を手放したい人が増加する。 | 66人 |
| ⑥ 農業を営む上での課題が大きくなる。(例：近隣からの苦情等) | 37人 |

【設問6】 耕作することが困難となった場合 貸出方法 (複数回答可)】 農地を貸し出すことになった場合について、どのような方法が良いと考えていますか。

- | | |
|------------------------------|-----|
| ① 貸し手と借り手相対で行う。(利用権設定事業) | 59人 |
| ② 農地中間管理機構が仲介して行う。(農地中間管理事業) | 73人 |

【設問7】 耕作している方にお聞きします。現在、後継者の目処はついていますか。

1 後継者の有無

- ① 有 17人
- ② 無 54人

2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。

- 1年～5年未満 13人
- 5年～10年未満 16人
- 10年～20年未満 18人
- 20年以上 8人

3 今後、耕作を続けられなくなった場合はどうしますか。

- ① 後継者に任せる。 16人
- ② 他の人に耕作してもらおう。 22人
- ③ まだ考えていない。 24人
- ④ その他 9人

【設問8】 耕作している方にお聞きいたします。

現在、あなた自身の経営は、地域の中でどういう位置づけだと思えますか。

- ① 地域の中心となる農家であり、今後も中心になると思う。 5人
- ② 地域の中心となる農家であるが、将来的には中心にならないと思う。 9人
- ③ 今は地域の中心となる農家ではないが、将来的には目指していく考え。 7人
- ④ 今は地域の中心となる農家ではなく、将来的にも考えていない。 40人

【設問9】 耕作している方にお聞きします。

今後（10年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。

- ① 農地の規模を拡大していく。 6人
- ② 現状維持 24人
- ③ 農業経営規模を縮小する。 10人
- ④ 農業経営をやめる。 17人

⑤ わからない。 17人

Q9で規模を縮小する又は農業経営をやめると答えた方にお聞きします。

① 農地は今後も（貸すなど）農地として残していきたい。 18人

② 農地以外の用途で活用したい。 15人

【設問10】 今後の（10年後）地域農業について、どのような取組を行い、発展させていく必要があると思いますか。 [複数回答可]

① 農地を今後の地域農業を支える農家などに集める。 66人

② 数ヵ所に分散している農地をまとめ、効率化を図る。 36人

③ 生産コストの低減を図る。 24人

④ 新たな作物の導入を図る。 24人

⑤ 直売所での販売・企業等との直接取引を図る。 13人

⑥ 6次産業化（生産から加工、流通販売を行う）を図る。 17人

⑦ 高付加価値化（ブランド化）を図る。 19人

⑧ 青年就農者（新たに就農する若い人）を増やす。 32人

⑨ 法人経営化を促進する。 29人

⑩ その他 4人

⑪ わからない。 32人

◎ご意見等

- ・ 大型圃場を作り、用排水しやすくする
- ・ 機械の効率化や負担を減らしてほしい
- ・ 収益の増加する作物の導入が図れるとよい
- ・ 温室メロン重視
- ・ 農業の喜びは収穫です
- ・ 焼草の煙の発生クレーム
- ・ 農転可能にして欲しい
- ・ 温室の跡地を宅地等にできるようにして欲しい
- ・ 機械導入費用の補填
- ・ 畑は耕作していない
- ・ 農業では生活できない
- ・ 土地は手放したい(無償でも)
- ・ 畑・田はいらない
- ・ 高齢のため水出し作業、部農会の役員をやれないが辞退できない

◎その他意見等

- ・ 屋敷周りの小さい圃場は、非農地にする
- ・ 会合の場を設けてほしい
- ・ 太陽が当たらず排水がよくないが、米の質は良いので、補助をして欲しい
- ・ 機械・器具購入の補助、農地・農道整備の補助
- ・ 里山の管理、草刈、側溝の泥上げをやってもらいたい
- ・ 消費者の喜ぶ農産物ができれば経営は成り立つ
- ・ 3K・資金不足・市場の相場と耕作のバランス
- ・ 変形な田・小さな田は、有効利用を。
- ・ 協調性のない地区で、わからないことも教えてくれない
- ・ もっと具体的な内容のアンケートでないとわからない
- ・ 資格がなくても、農地を購入できるようにして欲しい。
- ・ 集落営農ができるか検討
- ・ 草刈りが大変
- ・ ブランド化・生産コスト削減
- ・ 農地以外の利用、土地の集約化
- ・ 公園の計画はどうなっているか
- ・ 農業に魅力がない
- ・ 耕作していない水田にソーラー発電設置の話があったが許可されなかった
- ・ 地域割を決めれば、発展する
- ・ 耕作面積が小さく、大型機械の導入困難
- ・ 野菜を作り、販売店に持っていく

- ・ 日照不足で作物が育たないため稲作を止めたら、水田が荒れたがどうしたらよいか
- ・ 補助金に頼りすぎない農業を
- ・ イノシシの被害が甚大。
- ・ 農地を守るのは限界
- ・ 依頼していないのに、無断耕作されている
- ・ 農作業は AI と共にあり、グローバルな市場で活躍すると思う
- ・ 耕作放棄が拡大する
- ・ 農業だけの生活は無理
- ・ 農地は売却したい
- ・ 農業人口減少・法人化
- ・ 企業・法人が参入しないと耕作放棄が増え、環境悪化
- ・ 大変困っている

